

幼馴染同士で航空自衛官に ～空自入間基地に招待～



エプロンより航空機の説明を受ける様子



U-4機で記念撮影

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は2月26日（水）井坂いさか けんたろう なかじまかずき さいとうゆうたろう 健太郎 健太郎が航空自衛隊に入隊予定の高校生2名（中島和紀さん、齋藤雄太郎さん）を入間基地に招待した。（横浜中央募集案内所の榊山智樹広報官（航空自衛官）の支援で実現したもの）

招待した2名は小さい頃からの幼馴染で、それぞれ違う高校に進学していたが、先に自衛官候補生に合格していた中島和紀さんの誘いで、齋藤雄太郎（さいとうゆうたろう）も自衛官候補生採用試験を受験し見事合格。2人揃って航空自衛官の道を歩むことが決まった。

当日は小雨の降る中での見学となったが、基地で運用している各航空機を見学したり、勤務している隊員より説明を受けたりした。真剣に説明を聞き入っていた2人からは「基地の広さに驚きました。こんな場所で働くんですね」「隊員の皆さんが優しく、一緒に働くのが楽しみになりました」と感想があった。間近で見る航空機の大きさに驚いたり、基地内施設の案内を熱心に聞き入ったりと、入隊後の生活をイメージしてもらえた様子だった。

市ヶ尾募集案内所は「航空自衛隊での勤務をイメージしてもらえる有意義な見学会となった。二人の前向きな言葉から入隊への意欲が伝わってきた。今後入隊予定者をきめ細かくフォローし、確実に入隊へとつなげていきたい」としている。

入隊者が特別輸送隊空中輸送員のマーク取得を報告



マーク取得の報告に訪れた清水空士長

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、3月5日（木）当事務所から航空自衛隊一般候補生として入隊（平成29年4月）した清水歩美空士長から念願の空中輸送員に合格したとの連絡を受けた。

清水空士長は入隊後もメールによる連絡をくれたり、当事務所を訪れてくれたりと、入隊後も担当の江澤広報官との交流が続いていた。清水空士長は当初、岩手県の山田分屯基地でリーダー管制の仕事を担当していたが、入隊前からの夢であった空中輸送員への道を諦めることができず、勤務しながら努力を続け、選抜試験に合格した。選抜試験は英語や専門知識を得るための教育研修を含んでいるものであり、勉強漬けの毎日を経験しながら最終的にCA研修を経て航空身体検査を受け、全ての基準をクリアしたもののだけが合格し、空中輸送員のマークを獲得できる狭き門である。本人は「特別輸送隊への配属が決まり、3月13日から新天地での新しい勤務が始まります。頑張ります」と笑顔で言い、新たな職場への意欲を滲ませていた。

市ヶ尾募集案内所は、「入隊を担当した隊員が努力を重ねて夢を叶えたことは感慨深い。今後後輩隊員の活躍を応援していきたい」としている。